

HOT NEWS

雲仙復興事務所

平成23年9月20日

大野木場小学校「メモリアルデー2011」
～災害経験を語り、子どもたちに命の大切さを～

発信元

雲仙復興事務所
調査・品質確保課 大鷹 祥子

9月15日、南島原市立大野木場小学校にて、「メモリアルデー2011」が開催されました。この行事は、1991年の雲仙普賢岳噴火の大火砕流で、大野木場小学校の校舎が焼失した9月15日に、子どもたちへ災害の経験を語り継ぎ、命の大切さを伝えるために、98年から開催されています。

当日は下記のようなプログラムで行われました。

プログラム

1. 開会行事
2. 校長あいさつ
3. 南島原市長あいさつ
4. 東北地方地震復興ボランティア報告
5. 5年生 災害学習発表
6. グループ懇談
7. 全校合唱
「生きていたんだね」
8. 閉会行事



資料といっしょに子ども達が1つ1つ手作りした団扇が配られました。

事務所長が来賓として招かれました。



～校長先生、南島原市長様のあいさつ～

校長先生のあいさつの中には、雲仙復興事務所の災害の伝承活動についてのお話もありました。



～南島原市職員の方が東北地震復興ボランティア報告～

震災の様子を実際に見た職員の方の生の声を聞くことで、災害の恐怖を再確認。また、どのようなボランティア活動を行ったかの報告。



～5年生 災害学習発表～

焼けたイチヨウの木を目線に語る形式で雲仙普賢岳噴火災害の様子を発表。分かりやすく、印象に残る発表でした。また、**砂防事業、無人化施工**についての紹介もされていました。

～グループ懇談～

当時の被災を経験した当時の教職員や卒業生との懇談。実際に経験した者にしか分からない経験やもし災害にあった時のための教訓など、少人数の対話形式により分かりやすく行われていました。



全校合唱

「生きていたんだね」

焼けたイチョウの木をモチーフにした歌の合唱

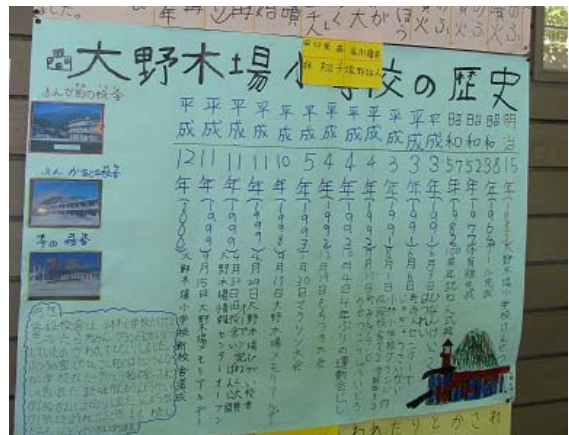
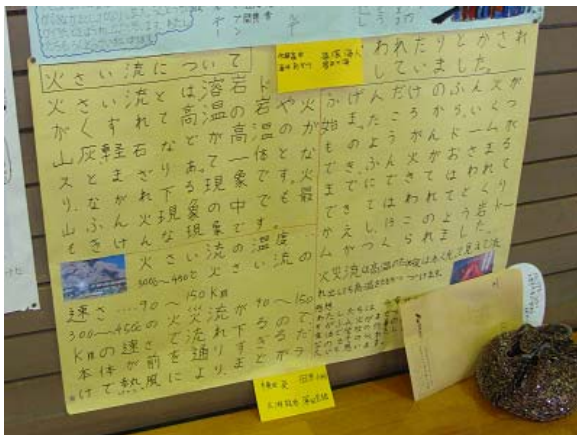
生きていたんだね
く 校庭のいちようの木に寄せてく
校庭のすみのいちようの木が
ながい冬をしつかりたえて
春の陽ざしあびて あたらしい芽をつけた
生きていたんだね お前のように
ぼくたちも わたしたちも
前を向いて 歩いてゆきたい
あの日うもれた みどりの山に
すがたけした 小鳥の音が
春の風にのって このまちにもきこえてきた
生きていたんだね お前のように
ぼくたちも わたしたちも
前を向いて 歩いてゆきたい



会場には様々な当時の災害を分かりやすく説明するための写真・新聞記事、後生に伝えるために高学年の子どもたちが手作りした展示物がありました。



4年生



5年生



6年生



どれも分かりやすくまとめてあり、この学習をすることで、さらに印象深く子どもたちに心に残るように授業をされているんだなと感じました。